

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023.7.12
作成 高齢者支援センター	忠生第2
作成者	井田 美喜子

1.開催日時	2023年6月29日	(木)	18:00	～	19:00
2.会場	オンライン開催				
3.主催センター	忠生1	・	忠生2	・	
4.参加人数	21				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 7人		<input type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 3人 (うち、医師 1人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 5人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人		<input type="checkbox"/> 老人会 人		<input type="checkbox"/> 住民 人
	<input checked="" type="checkbox"/> 町内会自治会 4人		<input type="checkbox"/> 警察 人		<input checked="" type="checkbox"/> 行政 1
	<input type="checkbox"/> その他 (
6.開催テーマ	支え合いの町忠生「災害と感染症の中での私たちの暮らし」				
7.地域課題	(1)課題設定の背景				
	<p>圏域内の大型マンションや市営住宅の管理組合長が市の防災課の話を聞き、マンションや市営住宅の住民は避難所利用ではなく、自宅内の安全な場所に避難するよう呼びかけられているという話が出ている。また、住民の名簿がないと避難所利用はできないのか、など不確かな情報が多々あり、情報内容にばらつきがあり災害時の対応に差が出てしまい混乱を招く可能性がある。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>災害時に行政の支援が届かないであろう72時間を、地域住民がどのように行動したら生活を継続できるのか。</p>				
8.会議の内容	<p>防災についてどのようなことが知りたいのかを検討するために、災害が発生した時に地域住民が何に困るのか、どのようなことが心配なのか自治会長より意見を集約。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会から家庭で備蓄するよう案内するがなかなか実行につながらない。 ・要支援者をどのように助けるのか。自治会でリスト化することは難しい。 ・高齢者の1人暮らしや高齢者のみ世帯が孤立しやすい。 ・小中学校の統廃合が計画されているが、場所によっては避難所が遠くなってしまう。 ・ある小学校の校長から、どの町会から何人来るのか尋ねられたが、自治会ではどこの避難所を希望するのか把握が難しく防災課から調査することはできないか。 ・避難所をあてにせず、なるべく自宅でやり過ごすことができるように、自助を徹底した方が良いのではないか。 ・施設は地域に対して災害時にどこまでできるのか。できること、できないことをあらかじめ知っておきたい。 				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>今回集約した自治会長からの意見や課題を整理し、防災の備えや対策内容を知る為に市のどの部署に講義の依頼を行うのか検討、決定していく。</p> <p>今回は自治会町内会からの参加者が4名あり、地域の声を確認することができた。今後も地域の声を会議に反映できるよう、課題を整理しながら継続した参加を促していく。</p>				
10.その他	3月11日開催の本会議に関する地域住民向け案内書面が決定した。				